



第18号

平成30年3月22日発行

前橋市元総社町335-8
群馬県国民健康保険団体連合会
保健事業推進室

発行人

鈴木 いせ

群馬県在宅保健師「さちの会」

会長 鈴木 いせ



会報十八号は原稿を寄せていただいた皆様、事務局の支援によりお届けできる運びとなり厚くお礼申し上げます。

「さちの会」の本年度の県内視察研修は上野村、御巢鷹山でした。昨年度「日航機御巢鷹山墜落事故30年目の記憶 群馬の保健師たちの証言」を発行いたしました。この冊子作りの中で「慰霊登山に行きたいね」との声が出ていて実現できたことを感謝いたします。この事故の救護活動に参加された会員はもとより、関わらなかった会員もそれぞれの想いをもって自分の目で見る事ができたと思います。実施に当たっては上野村の飯出保健師さんに搜索活動に携

わった消防団の方をご紹介いただき、お話を伺えてより意義深いものとなり心からお礼申し上げます。「さちの会」は東日本大震災以降「災害救護」をテーマとして取り組んできました。それを踏まえて、身近で災害が起きた時どう取り組むのかの具体策を提案させていただくべく、準備を進めております。これからも知恵を寄せ合って検討して行こうではありませんか。

私は、現職の時から「人あつての保健事業」を痛感しております。たので、平成二十九年度のスタートは近年になく緊張の想いでした。といいますのは連合会としての保健事業を行い、本会の事務局を支えていた保健師が一斉に退職という事態だったからです。幸いにも「さちの会」のご支援はいただく事ができてホッとおります。平成三十年度からは国保の保険者として県が加わり、市町村と共同して

運営していくこととなります。しかし、ヘルス計画や保険料を算定する基礎となる保健事業の役割は大きく市町村に求められています。現場の保健師が必要とする支援を連合会の保健師さんにはますます担っていただきたく思います。

いま保健事業を取り巻く状況は、少子化はもとより団塊の世代が後期高齢になる二〇二五年を見据えて、健康寿命の延伸、地域包括ケアの構築と次々政策が打ち出され、その度ごとに「保健師さんに期待しています」と言われています。保健所や市町村に働く保健師活動の現状はどうなのだろう、と一線を離れて久しい私は十分理解できない歯がゆさの中にいます。

歳月の流れは本当に早く、平成も残り一年となりました。会員一人一人が健康に留意しつつ楽しみながら、次の時代に何を残し伝えていくのか共に考えて行きましよう。

今年度の活動から

総 会

五月二十六日（金）午前

場所 群馬県市町村会館

出席 会員二十名

議長に三浦節子さんを選出し、昨年度の事業及び決算を報告し、今年度事業計画及び予算案について承認を得ました。また、役員改選期に伴い、事務局案のとおり、新役員が承認されました。（裏表紙参照）

総会終了後は地区ブロック別に会員が集い、地区ブロック活動や研修会等について、意見交換をしました。

第一回研修会

五月二十六日（金）午後

場所 群馬県市町村会館

出席 会員二十三名

現役保健師 大学等三十一名

講演 「災害時の保健活動について」

熊本への被災地派遣から」

講師 群馬県医務課補佐

原澤 和代 氏



感想

研修会に参加して

植松 みよ

この数年、「さちの会」では災害時の保健師の対応について、現場で活動した保健師の話を聞いたり、現地への視察研修を行うなど理解を深めてきました。

今年度第一回の研修として、群馬県の保健師の災害時の活動について、群馬県医務課看護係の原澤和代補佐より県の話の聞きました。

一 主な災害時関連法・制度として、災害救助法（一九四九年）の目的と具体的な救助について。

避難所の設置・食品の給与、被服等の給与、医療・被災者の救出、住宅の補給修理他十項目の法則。

また、一九六一年に施行された災害対策基本法により、その目的と災害時の医療支援等について。

二 保健師の災害時派遣の根拠について。保健師の災害時派遣調整、情報登録の目的・対象自治体・内容等について。

三 災害時の保健活動においては、活動マニュアル及び今までの保健師派遣の歴史、阪神淡路大震災・新潟中越地震・東日本大震災・関東東北豪雨水害・熊本地震時の保健チームの具体的な年月日、チーム編成、派遣期間他必要物品及び保健師個人が準備する物品等。

四 派遣の振り返りと今後の課題として、派遣後に振り返りシートを作成し、良かった点・改善点を書き出し、支援側と受け入れる側の両サイドから見た反省

や課題等。加えて支援者自身の健康管理について、大切な事は何かを話されました。

最後に保健師活動のつなぐ・動く・振り返る、考えて創造して実践できる、P→D→C→Aサイクルを通して活動していくことが大切である、とまとめました。

「群馬県災害時保健活動マニュアル」が作成されており、誰でも閲覧できるといってですが、実際に日常では必要に迫られることがない為、知らない人が多くいました。



自然破壊、地球温暖化、また特に地震国として断層ベルトが三十数個もある日本においては、何時何処で災害が起きてもおかしくない時代となっています。

各々が、自分自身の事として備えるのは勿論のこと、自助公助を更に推し進めていくことが大切である事を学びました。

行政の立場からの研修は、そういう意味でも有意義でした。

視察研修会

十月二日(月)

場所 上野村

慰霊の園 御巢鷹の尾根

(旧黒沢家住宅)

出席 会員二十三名 事務局二名

感想

視察研修に参加して

深澤 英子

今回、「さちの会」視察研修「慰霊の園見学と御巢鷹の尾根登

山」の案内をいただき、すぐに参加申し込みをさせていただきました。昨年、会から「日航機御巢鷹山墜落事故30年目の記憶」が出版され、それに続く今回の企画にありがたく思いました。

わたし自身三十年前、おそらく現地への派遣の最終グループで訪れているのですが、その後は、話題にすることもないまま、記憶はぼんやりとしたものになっていました。しかし、ふとしたことで甦る断片的な映像、男性と思われる白くむくんだ足先を手を持ち洗つ自分の姿とその意外に重い感触は、現実の出来事だったことを思い出させました。

当日の参加者は二十五名。たくさんさんの懐かしい顔ぶれに時間が逆戻りした感覚になり、貸し切りのバスも満席で、あっという間に上野村の慰霊の園に着きました。そこで、地元の元消防団員で、飛行機墜落から真っ先に現地に入った

今井さんから講話を聞きました。様々な遺品が陳列された部屋で聞く今井さんのお話は、とても三十年前の出来事とは思えない団員の気持ちの揺らぎを含めた生々しさがありました。そしてケースに収められた女の子の小さいサンダルに胸が熱くなりました。

「御巢鷹の尾根」の登山口には、地元の子どもたちが作った大小の杖がたくさん用意されており、それを借りました。所々急な坂はあるものの整備された登山道を、設置された熊よけの鐘を叩きながら

登りました。目的地である「鎮魂の鐘」に近づくに従って、塔婆が増えていき、名前と年齢の書かれたその足元には、写真やおもちゃなどがありました。重なるように立つ塔婆、登山道からだいぶ離れたところに立つ塔婆、それぞれ遺体が発見された場所であろうことが想像されました。供えて間もない花もたくさんあり、ご遺族をはじめ、この場所を見守る方々の姿が目につきました。「つらく苦しいことは忘れない、思い出したくない」しかし、この先同じ



ようなつらい思いをする人をつくらないために、きちんと問題を検証し、未然に防ぐ努力をし続けることが大切なのだと言っているようにでした。私たちがこの出来事を忘れないでいること、三十年花が絶えずにあることは、こうした事故防止の取り組みのための大きな力になるのだと思いました。

今井さんが講話の最後、「自分は現場の話しかできないが、今日のような話をする機会はこれまでになかった。必要なだよなあ」と自身に言うように話され、「この事故を知らない世代に語り継ぐことが空の安全には必要」と締めくくりました。

事故が発生し、その時保健師は何をしたのか！「群馬の保健師たちの証言」に当時の生の姿が描かれています。あらためて個々に書かれた事柄は保健師としてのアイデンティティーに深く根差したものであり、これらもまた次世代に

語り継ぐべきものだと思います。今回の視察研修に参加できたと深く感謝いたします。

第二回研修会

平成三十年三月八日（木）午後

場所 群馬県市町村会館

出席 会員十五名

現役保健師 八名

講話と実技

「災害時高齢者生活支援講習」

「二次救命措置 心肺蘇生とAED・気道異物除去」

「避難所生活や支援活動に役立つ実技」

講師

赤十字健康生活支援講習指導員

（日赤群馬県支部事業推進課）

新井 典子 氏



感想

研修と今後について

剱持 君枝

十人近い現役の方と「さちの会」、連合会の人達を前に、講師は「緊張する。」とおっしゃいました。講師は日赤病院で、二十四年間看護師として活躍した大ベテランです。緊張していたのは、心肺蘇生モデル人形を前にした私達の方です。

実技中心の研修は「二次救命処置」の胸骨圧迫と人工呼吸から始まり、AEDの使用でした。AEDを初めて手にした人もいたようです。

面白かったのは、災害時を想定して、毛布を使ったガウンや風呂敷二枚で作るリュックサックです。ガウンはグループ全員が着る体験をしました。とても暖かくて移動も楽です。紐一本で毛布が、まさにガウンに変身するのには驚きました。

高齢者が床から立ち上がる時に、支援者の膝を台の代わりに利用してもらう方法も、初めて知りました。

最後は「さちの会」活動紹介でした。会員の高齢化を痛感し、若い会員への声掛けを決意しました。さらに入会勧誘も考えてみました。



ブロック活動報告

中・北毛ブロック

「さちの会」今とこれから

世話人 劔持 君枝

ブロック活動の中心は寸劇です。今年も予定通り十回を終え、断れない追加が二月にあり、出番を楽しみに待っています。

今年は三作目のシナリオ、骨折



予防「あーころんじやった」も完成しました。

出前先では、アドリブも飛び交い参加者の笑いを誘います。寸劇に続く、それぞれの予防ポイント話や、脳トレは好評を博しています。

なんと次年度は、某地区の公民館が完成するので、柿落しにと声がかかっているのです。びっくり仰天の心境です。

さらに、十一回の寸劇終了を

中・北毛ブロック 健康劇上演一覧

回数	実施日	場 所
1	4月28日(金)	前橋市 端気町公民館
2	5月19日(金)	前橋市 富士見町中島公民館
3	6月1日(木)	前橋市 川曲町公民館
4	6月15日(木)	前橋市 富士見町梶谷公民館
5	7月12日(水)	前橋市 富士見町原中公民館
6	7月20日(木)	前橋市 富士見町横室公民館
7	9月25日(月)	渋川市 古巻公民館
8	10月12日(木)	渋川市 渋川公民館
9	10月22日(日)	前橋市 富士見町引田公民館
10	11月21日(火)	前橋市 富士見町石井三区公民館
11	2月25日(日)	前橋市 三河町二丁目公民館

待って、万座温泉泊の反省会も計画されています。

ほとんど全員が高齢者の域に達した今、「加齢現象」を庇い、助け、笑い合って「さちの会」を励んでいます。

今後も一人でも多くの方々に喜んでいただけるよう、寸劇活動が続くよう、仲良く頑張りたいと思います。

西毛ブロック

寸劇を通し

認知症予防を目指して

世話人 鬼形 イシ子

寸劇をやらせて貰った時の参加者から「この間は、お世話になりました。寸劇の巧妙な会話のやり取りに感心して聞き入っていました。わかりやすく、大変良かったです。」と声を掛けられました。

最近、演技にも磨きがかかり参加者の状況に応じて上演できるようになりました。

「皆さんと共に健康でいることが社会貢献です」という意識が演技に現れ、会場が一体となり喜ばれているのだ、と思います。

何度か行っているサロンでは、「誤えん体操、毎日やっています。」「足踏みしりとりをやる様になっています。」「等言ってくたさる人が出てきました。」

「継続は力なり」と言われるように、何度も足を運び一緒になっ



て楽しくわかりやすく上演することが、実行してもらえることに繋がるのだと改めて感じています。

西毛ブロックも、会員の高齢化と新規会員の加入について考えなければなりません。体が続く限り活動するにはどうしたら良いか、若い人の勧誘をどうしていくか等です。

団塊世代が後期高齢者に入る昨今、最大の課題である認知症対策の一つとして、微力ながら活動に精を出したいと思っています。

西毛ブロック 健康劇上演一覧

回数	実施日	場 所
1	5月9日(火)	高崎市 萩原町公民館
2	6月15日(木)	安中市 新屋敷公民館
3	7月3日(月)	神流町 健康福祉センター
4	7月8日(土)	安中市 臼井生涯学習センター
5	9月20日(水)	安中市 後閑公民館
6	2月4日(日)	安中市 梁瀬公会堂
7	3月14日(水)	高崎市 中居公民館

東毛ブロック

会員交流会を実施して

世話人 高橋 好美

東毛ブロックでは、会員各々が市町村等の求めに応じ、保健事業への協力支援をおこなっており、ブロック活動は「交流会」が唯一のものとなっています。

一回目は七月二十日に太田市にある美喜仁館で、退会された三人を含め八人の出席で開催されました。初代会長をされた小川幸子さ



んは、「さちの会」設立前の発起人六名によるアンケート調査の実施から、会設立までの話をされました。特に入会を勧めると「すぐに役がくるから・・・」と断られ苦労する状況でも、ここまで育ったことに感慨深いものを持たれていました。役をすることで得られるもの、それが自身で実感できないと会活動に積極的になるのは難しいと思っています。

また、二回目は二月二十四日(土)に、保健師教育に長年携わっている照沼正子氏(旧姓 錦織)による「保健師教育よもやま話」と題した講話で、大学の看護教育では保健師を強調しても受け入れられず、在宅看護と公衆衛生活動が一緒に教育が進められており、特に実習施設となる市町村や保健福祉事務所の保健師と訪問看護ステーション看護師の姿勢は、学生に与える影響が少なくない」と再認識する機会となりました。

その他の在宅保健師会 活動関連

都道府県在宅保健師等会

全国連絡会

主催 国民健康保険中央会

開催日 二月二日(金)

会場 ビジョンセンター永田町

出席者 鈴木いせ(会長)

土屋剛之(事務局)

平成二十九年都道府県在宅保健師等会全国連絡会が、雪の中開催され参加いたしました。

講演は、「保健事業は今!!第三期特定健診特定保健指導・糖尿病性腎症重症化予防・高齢者の保健事業(フレイル)」あいち健康の森科学総合センター長 津下一代先生でした。

人生九十年に向けて健康寿命の延伸を目的とした膨大な事業に現場の保健師たちはどう取り組んでいくのか?在宅としてどんな支援ができるのか考えさせられました。

事例発表は、富山県の「特定健診等受診勧奨事業」、長野県の「保健補導員への支援」でそれぞれ特色ある取り組みが報告されました。

グループワークでは、悩みは各県共通して会員の確保、財源の確保、災害支援などで、特徴ある取り組みとしては、先輩保健師の活動を聞き取りDVDに残すなど、群馬が行ってきたような活動をまとめる事業、保健師も世代交代が進む中、活動お宝発掘事業（秋田）、他職種と一緒の活動（埼玉）などの報告がありました。在宅の会は全国で四十県に組織され様々な活動が行われていますので、それらを学びつつ活動して行きたいと思いました。



保健師の源流をたどる

シリーズ8

在宅保健師「さちの会」活動さらなる発展を目指して

元笠懸町保健師

赤石 はる子



1 はじめに

本シリーズは「歴史から見る群馬の保健婦活動」として、会報第十一号から四回シリーズで、①農村保健婦誕生とその社会的背景 ②太平洋戦中戦後混乱期の保健婦活動 ③国民皆保険と国保保健婦の役割 ④国保から市町村保健婦への身分移管と保健活動、などを掲載。

続いて第十五号から第十七号では「公衆衛生を支える保健所と保

健師活動」①公衆衛生活動における保健師活動 ②早くも保健所関連法の改悪 ③町村保健師からみた保健所活動の流れ、など全七回に渡って掲載されてきた。

（詳細は会報を御覧ください）



2 国保連合会と保健師の関係

保健師活動は昭和十六年保健婦規則に始まり、当時は窮乏に喘ぐ農山村保健運動でした。昭和二十二年の日本国憲法施行による大きな流れの中で、昭和二十三年に国保法が一部改正され、国保は市町村公営となり、国民健康保険団体連合会が各都道府県に設置された。それに伴い保健師の身分も農業会から市町村国保へと移行した。

昭和二十五年には、群馬県国民健康保険団体連合会（以下、国保連合会）に指導保健師として内堀千代子氏が採用され、市町村保健師にとって国保連合会が身近な指導機関となった。

昭和五十三年に国が保健師の身分を「国保保健婦」から「市町村保健婦」に移管し、健康管理対策の主体を市町村に一元化した。同年度に三十年間一貫して国保保健

師活動を支えた内堀氏の退職で、
国保連合会の指導保健師は空白と
なった。

3 「さちの会」の発足

平成八年に県の保健師が国保連
合会に出向になり、十七年間空白
だった連合会の保健事業が再稼働
した記念すべき年となった。

当時、国保連合会では被保険者
の高齢化に伴う医療費の増高、重
複多受診や国保保健事業及び市町
村保健事業支援などの課題があり、
こうした問題解決のために期待し
たのが在宅保健師だった。

平成十年に、国保連合会保健事
業課の新設もあり、平成十一年十
月に国保連合会に事務局を置き、
会員六十三人で「群馬県在宅保健
師の会」が発足した。

会の活動目的「会員が身につけ
た知識と技術を生かし地域保健活
動に貢献し、更に資質の向上を図
るために研鑽を深めるとともに、

会員相互の親睦を図ることとす
る」のもと、持てる力を発揮でき
る在宅保健師を目指した。

在宅保健師は公務員として政策
に参加し、長年住民の要求を汲み
上げ、健康づくりに取り組んだ経
験を生かし、独自の活動に発展さ
せたいと、平成十六年に名称を群
馬県在宅保健師「さちの会」とし
て更なる一步を踏み出した。

4 「さちの会」の活動

「さちの会」活動は、国保連合
会保健活動支援事業と独自事業に
大別される。

(1) 国保連合会の支援活動

これまで、健康福祉フェス
ティバル、小規模保険者支援事
業、いきいき市町村を育む保健
事業、さわやか・のびのび体操
の普及事業、特定健診等支援モ
デル事業、特定健診未受診者訪
問調査、特定健診等周知事業及
び重複多受診者訪問など、国保



連合会の市町村支援に参加して
きた。

(2) 独自の活動

① 視察研修は県内と県外を隔
年で行い、県外研修は「ゆき
ぐに大和医療福祉センター」
「長野県安曇野保健婦資料
館」、震災の一年半後に現地
視察「宮城県石巻市の被災地
案内と健康推進課の支援活
動」を学び、三年後「福島県
の仮設住宅視察」や福島県在
宅保健師の会「絆」と交流及



び被災地飯館村支援活動を続
ける草津町の土屋保健師との
交流、などで保健師の役割の
重さを実感した。その後も、
中越地震の被災地新潟県小千
谷市・山古志村復興交流館視
察など、地域を知り尽くし、
住民組織と連携し、心に寄り
添う保健師活動を学習した。
② 研修会では常に現職の保健
師と共に学ぶことを念頭に、
多彩な講師を迎え今日も継続
している。

東日本大震災一年後には、講師に岩手看護短大鈴木るり子教授を招き「東日本大震災からの復興 私達はこれから何をすべきか―岩手県大槌町の保健師による全戸訪問健康調査から見えてきたこと―」を学んだ。

また、平成二十七年には映画上映「千年後の未来へ3・11保健師たちの証言」と製作者NPO法人公衆衛生看護研究所事務局長菊地頌子氏の講演会は、三百三十人で会場は満席となった。

東日本大震災関係の研修会がきっかけとなり、飛行機単独事故最大の日航機墜落事故支援に奔走した当時の、藤岡保健所師長であった飯島恵子氏と藤岡市保健師であった岩崎桃恵氏の両氏による講演、「日航機御巣鷹山墜落事故から三十年 群馬の保健師たち

の証言」を実施した。

③ 各地区ブロック活動は平成十九年度から始まった。県内を四地区に分け各地区ブロックの特徴を活かした会員主体の活動が開始された。

西毛地区の健康劇が、二年間の準備期間を経て平成二十一年度地域に「いきいきサロン」にデビューし、年々開催回数を増やしている。

中毛ブロック活動も平成二十三年度より健康劇を始め「寝たきり予防」「骨折予防」「熱中症予防」など歌や体操を織り込んだり、防災グッズの紹介など、両ブロック共それぞれ演目も多彩になり好評である。

東毛ブロック活動は現職との交流会や、地域の歴史に触れる中で魂の重なりを学んでいる。

(3) その他

- ・他県在宅保健師との交流
- ・東日本大震災被災地支援活動と県内避難者対象の健康相談
- ・第十三回全国地域保健大会公衆衛生協会会長表彰受賞（平成二十二年）
- ・年会費平成二十一年度より徴収開始、千円

5 「活動のまとめ」（冊子発刊）から学んだ保健師活動

(1) 冊子「今、想いをこめて未来につなぐ 新たな一歩を踏み出す群馬の保健師活動」

既に、群馬県看護協会が平成十四年に発行した「今そして未来につなぐ―歴史からみる群馬の保健婦活動」の第二段として、国保連合会より編集依頼を受け平成二十六年三月に発刊。先輩たちの思いを引き継ぐと共に、新たに「地域保健

法」により公衆衛生が地方分権の一環として多くの事業が保健所から市町村に移行されるという大きな流れがあった。また、市町村合併により一時的に保健師は増員したものの地域は広がり、住民との結びつきの希薄化、業務の多様化など新たな問題が、現役保健師との座談会やアンケートの中で浮き彫りとなった。一方で、住民一人ひとりに関わり喜びや悲しみを共にし、行政の中で新たな業務をこなしながら、頑張る後輩たちの声を沢山聞くことが出来た。

(2) 冊子「日航機御巣鷹山墜落事故30年目の記憶 群馬の



保健師たちの証言

平成二十八年五月に発刊した。事故当時、救護活動の報道は直接作業に当たる人たちが中心で、疲労した遺族へのケア、地域住民との連携や対応など地域を知り、人々の心に寄り添い、陰で活動する保健師の活躍は、ほとんど伝えられなかった。墜落事故に関わった保健師たちの貴重な体験が、今後の災害活動に活かされると信じている。

6 国保指導保健師のパイプ役に期待

「さちの会」は会員が現役時代に培った知識と経験を活かす場として活動している。現役を退いた今、独自に新たな情報収集や市町村と連携が取りづらなのが現状である。

日本は皆保険制度により高水準の医療や寿命が保たれており、特に国民健康保険の目的は社会保障及

び国民保健の向上に寄与することである。七十五歳未満の退職者や被用者保険未加入のすべての人が加入する国民健康保険の役割は大きい。

平成三十年四月から、国民健康保険の保険者に県が加わる。このような保険制度や高騰する医療費の現実にも目を向け、「さちの会」として市町村・国保連合会の繋がりの中で、健康づくりの大切さを住民と共に再認識出来ないだろうか。昨年度から国保保健師時代を知らない会員を迎え「さちの会」活動も新時代に入り、持てる力を発揮するために国保連合会の指導保健師に期待したい。

群馬県国保連合会 関連

特定健診等周知事業

実施場所等

・大泉町文化むら
「大泉カルナバル2017」

多くの人が集まるイベント会場で血管推定年齢測定と併せ、健診の受診勧奨を行いました。

当日は台風による悪天候の中でしたが、百人以上の方に測定と健診の受診勧奨を実施しました。

測定結果を基に、普段の生活習慣を振り返ったり、健康面等の相談から健診の大切さを伝えました。このような機会を活用し、多くの方が自分の体に関心を持ち、健康で過ごしていけますよう、健診を周知していきます。

保健師等研修会

十二月二十五日（月）午後

場所 市町村会館

出席 会員十名

市町村保健師等三十六名

県保健師六名

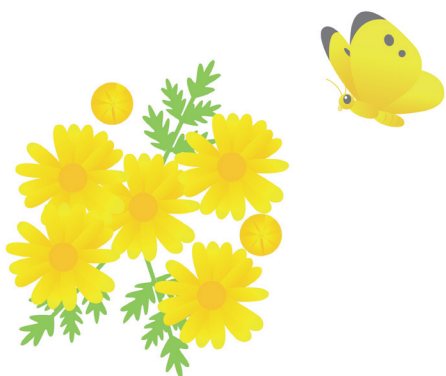
講演 「健康寿命延伸に向けた保健事業について」

講師 千葉県病院事業管理者（病院局長）・千葉大学客員教授

医学博士 矢島 鉄也 氏

昨年度に引き続き、矢島氏が講師でした。国の動向を知り、健康寿命延伸のために、今何をなすべきかをグループワークを交えた講義で学びました。

国が示した「保険者努力支援制度」の最新情報や、保険者が実施する「特定健診・特定保健指導」、「糖尿病性腎症重症化予防事業」等における国保データベース（KDS）システムの効果的な活用方法等について、現役の保健師と共に理解を深めました。



新入会員紹介

「よろしくお願い

いたします」

品川 孝恵

四月に入会させていただきまし
た。

今年度、中・北毛ブロック定例
会に少し参加しました。健康劇シ
ナリオの見直し、役割分担等の内
容でした。会員の諸先輩方の住民
に対する想いが感じ取れました。
お仲間に入れていただきありが
とございます。どうぞよろしく
お願いいたします。

「恩返しできるかな…?」

土屋 由美子

私は、平成二十五年三月に草津
町を退職いたしました。その後二
年間、再任用保健師として東日本
大震災の被災地である福島県飯館
村にお世話になりました。「さち
の会」の皆様においでいただき心

強かったです。また、在職中には
「さちの会」の諸先輩方の活動に

支えられた事も数多くありました。
退職後は、先輩保健師と共に活動
し、地域に恩返しがしたいと思い
入会いたしました。しかし、現在
は町立認定こども園に保健師とし
てお手伝いしており、入会しては
みたものの、会の研修等への参加
が出来ず申し訳なく思っておりま
す。

毎日、こども達からパワーをも
らいながら過ごしていますが、時
折気になる動きが目につきます。

就学前の運動健診が導入された今
日、気になる児の体づくりが今後
の課題になるのでは、と心配です。
「さちの会」の活動も時代の
ニーズにより様々に展開されると
思います。できる限り参加させて
いただきたいと思いますのでよろ
しくお願いいたします。

「いつか『さちの会』の

皆さんと…」

横塚 久子

早期退職した私を「さちの会」
に誘っていただきありがとうございます。
いました。

しかし、退職後は親の介護に追
われ、あっという間に一年が経と
うとしています。今はまだ短時間
の外出しかできないため、嫁いだ
娘にも留守番を頼み用を済ませ
日々が続いています。

「さちの会」の通知で保健師活
動の現況に触れ、小さなプライド
が震えます。

いつか、「さちの会」の皆さん

と活動できる日を楽しみに今を頑
張りたいと思っています。よろし
くお願いします。

「ゆっくり過ぎています」

梁瀬 忍

在宅保健師の会に入会させてい
ただいてから、一年が経とうとし
ています。入会したものの総会や
研修会にも、なかなか出席できな
いので、申し訳なく思います。

諸事情あり、定年前に仕事を離
職しました。この二年間、時間が
少しだけ、ゆっくり過ぎていよう
うに感じます。家事、子守り、自
分のやりたいこと・・・時間配分
が少し上手くなってきました。

私自身、会員としての活動は、
お役に立てるのか?ですが、退職
後も常に研鑽の機会を作ってくだ
さる諸先輩の皆さまと事務局の皆
さまに感謝致します。今後ともよ
ろしくお願いいたします。





二年間お世話になります。

平成二十九・三十年度役員

会長 鈴木 いせ
副会長 川島 佐枝子
副会長 田子 真弓（事務局）
幹事 武政 礼子
幹事 高山 陽子
幹事 高橋 和子
幹事 赤石 はる子

平成29年度「さちの会」会員

総数 54名

内訳	中・北毛ブロック	24名
	東毛ブロック	18名
	西毛ブロック	12名

編集後記

先日、病院に勤務している看護師から「うちの病院には、一日に透析をしに来る人は、六百人くらいくる。年々増えている。」と聞き、私にとつては驚きの数字でした。糖尿病の重症化予防が叫ばれていますが、ほんとに、皆さん、心して予防に努めましょう。

（ま）

会員募集

新しく入会してくださる方を随時募集しています。

保健師の資格をお持ちの方で、
在家庭や非正規雇用などの方を
御紹介ください。
お問い合わせは事務局まで。
お待ちしております。

事務局

群馬県国民健康保険団体連合会 保健事業推進室

〒371-0846 前橋市元総社町335番地の8

群馬県市町村会館内

電話 027-290-1369

FAX 027-255-5308

sogo@gunmakokuho.or.jp

